

認知症になっても 障がいをもっても 安心のくらしをめざして

～ご本人とご家族の思いによりそって～



第197回 サポートセンターの日 発表団体

■NPO法人老いを支える北九州家族の会

五郎丸 日出雄 理事長 ・ 野村 尚子さん ・ 岩永 悦子さん

認知症や寝たきりの高齢者を介護する苦勞は、経験した人でないと理解できないと思います。それだけに、同じ悩みを抱える介護家族同士の交流はとても大切で、励ましあい、助け合うことで、それぞれ疲れた心が癒され、介護を続ける力をもらっています。

「NPO法人老いを支える北九州家族の会」は、そうした介護家族の悩みや苦しさを共有するとともに、介護問題を社会に広く発信していくことを目的に活動しています。

任意団体として家族の会の活動を21年、NPO法人となったのは、4年前の平成27年11月で、今年は25周年。会員数は昨年末550人を超えました。

認知症・介護家族コールセンターの運営（市委託）のほか、会報誌の毎月発行、介護家族交流会（主催、市委託）の定期的な開催、認知症勉強会の実施など、行政や医療関係者との連携に努めながら、認知症になっても、障がいをもっても地域で安心して暮らせる社会を目指して活動を続けています。

<http://kazokunokai.com/>



活動のきっかけ

活動をスタートさせたのは、介護保険制度が導入される6年前、認知症に対する理解もまだまだ進んでいない平成6年でした。八幡西区の特別養護老人ホーム「サン・グリーンホーム」デイサービス利用者の「交流会」をきっかけに、高田芳信前理事長（現顧問）の声かけで「デイサービス家族の会」が発足。平成8年、名称を「老いを支える北九州家族の会」に変更し、誰もが入会できる団体としました。平成27年には、今後の継続的な運営を見据え、「NPO法人」格を取得しました。



会員の介護体験

夫と共に歩んだ12年間 岩永 悦子さん

福祉や地域活動に熱心に取り組んでいた夫が、69歳の頃、約束をよく忘れるようになりました。脳神経外科を受診したところ、脳の萎縮が見つかり、初期の認知症との診断。次第に洗顔、歯みがき等ができなくなり、介護が難しくなってきた頃、「老いを支える北九州家族の会」の存在を知り入会。つらいのは自分だけではないと分かり気持ちが楽になりました。診断から約7年後、私が出かけている数分間の間に行方不明になったことや、排せつ・口腔ケア等の問題から、後ろめたさを感じながらもグループホームへ入居。その後、体調を崩し入院した際には、認知症患者の治療の難しさを痛感しました。退院後は看取りを決意し再びグループホームへ。治療を止め穏やかな時間を過ごしました。夫が81歳で亡くなった後、介護を終えた安堵感の一方、寂しさで押し潰されそうな中、家族の会の皆さんや、夫がきっかけでできたたくさんの友人との交流が心の支えになりました。

今は自分も何か役に立てればと思い、恩返しのためで活動しています。

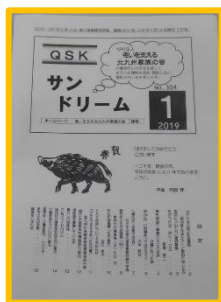


アコーディオン演奏を楽しむ

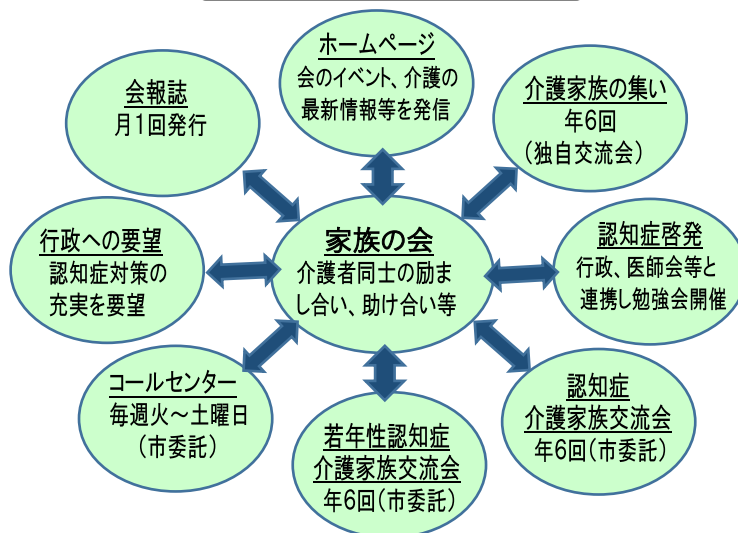
会報誌「サンドリーム」

家族の会発足前の平成5年8月、デイサービスに通う人たちの励ましになればと思い、高田現顧問が作り始めた「会報誌サンドリーム」。以来、毎月欠かさず発行し、今月で307号になりました。

交流会やセミナー情報のほか、会員の介護体験・趣味の投稿等もあり、会員の心のよりどころになっています。会員には毎月お届け。購入（1部160円）も可能です。



活動のネットワーク



【老いを支える家族の会からのメッセージ】

日々の介護で、肉体的にも精神的にも追い詰められ、本人にとって良くないことをしたのではないかと後悔することもあります。また人それぞれに決断や選択も異なります。そういったことを話し合えるのが家族の会です。福祉の向上と家族の交流を目的に発足した会ですが、志をもって長く続けていくことで共感し参加してくれる仲間が増えていきます。自分だけが苦しいのではない、もっと頑張らなければと勇気ももらえます。一人で抱え込まずに、仲間同士で相談しながら共に前に進んでいくことが大切だと考えています。



助成金情報



<p>北九州市 ●まちづくりステップアップ事業</p> <p>★金額：上限 30 万円（対象経費の 50%以内） ★締切：4 月 19 日（金）必着 ★各区役所総務企画課企画係（小倉南区は企画広報係）</p>	<p>北九州市 ●NPO公益活動支援事業</p> <p>★金額：上限 50 万円（対象経費の 50%以内） ★締切：4 月 26 日（金）必着 ★市民文化スポーツ局市民活動推進課</p>
<p>災 害 ●大塚商会ハートフル基金公募助成</p> <p>★金額：上限 30 万円 ★締切：4 月 30 日（火） ★株式会社大塚商会</p>	<p>環 境 ●2019 年度 F G F 助成</p> <p>★金額：助成総額 850 万円（助成件数 8 件程度） ★締切：5 月 7 日（火）消印有効 ★公益信託富士フィルム・グリーンファンド</p>
<p>子ども ●子供たちの環境学習活動に 対する助成事業</p> <p>★金額：詳細は HP でご確認ください ★締切：5 月 10 日（金）必着 ★（公財）高原環境財団</p>	<p>環 境 ●緑化を伴うヒートアイランド 対策に関する助成事業</p> <p>★金額：詳細は HP でご確認ください ★締切：5 月 10 日（金）必着 ★（公財）高原環境財団</p>
<p>子ども ●第 18 回トム・ソーヤースクール 企画コンテスト</p> <p>★金額：詳細は HP でご確認ください ★締切：5 月 17 日（金） ★（公財）安藤スポーツ・食文化振興財団</p>	<p>福 祉 ●第 36 回「老後を豊かにする ボランティア活動資金助成事業」</p> <p>★金額：1 グループにつき 10 万円を上限 ★締切：5 月 24 日（金）必着 ★（公財）みずほ教育福祉財団</p>
<p>福 祉 ●新設のおもちゃ図書館に おもちゃセット助成事業</p> <p>★金額：20 万円相当のおもちゃセットを提供 ★締切：5 月 25 日（土）必着 ★（一社）日本おもちゃ図書館財団</p>	<p>文 化 ●2019 年度ニッセイ財団 「地域福祉チャレンジ活動助成」</p> <p>★金額：1 年間最大 200 万円 ★締切：5 月 31 日（金）当日消印有効 ★（公財）日本生命財団</p>

※詳細はサポートセンターのHPに掲載中。
また、当センターの助成金コーナー（ラック）では紙ベースでの情報を提供しています。



NPO 法人・設立申請状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)



★北九州市内のNPO法人数：322団体

※市内に主たる事務所を置くNPO法人数
(市外に事務所があるNPO法人でも、市内に主たる事務所がある場合は、数に含めています。)

★設立認証申請中の団体

現在設立認証申請中の団体はありません。



サポートセンター主催のセミナーなどの情報（無料・要予約）



内 容	4月	5月
税理士相談会 (会計や税務に関する相談)	税理士相談会はありません。	5/22 (水) 16:00~21:00 5/29 (水) 10:00~16:00
NPO入門説明会 (NPO法人設立の準備を始めた方向け)	4/24 (水) 19:00~20:00	5/ 8 (水)・5/22 (水) どちらも 19:00~20:00
❖4月サポートセンターの日(ミニコンサート)❖ 音楽の力による 心豊かなまちづくり・ひとづくり ～クラシック音楽ファンは人口の0%!?～ 日時：4月18日(木) 12時~13時 発表団体：NPO法人北九州リバーサイド ミュージックBOX 「SION」 会場：マーメイド広場(コムシティ3階)  北九州市の音楽文化の発展を目指し、様々な会場でコンサート活動をされている団体です。		❖5月サポートセンターの日・NPO活動発表会❖ 発達障害の方の 居場所を創る ～想いをかたちに～ 日時：5月23日(木) 18時30分~20時 発表団体：特定非営利活動法人 nest 理事長 林 澄江氏 会場：市民活動サポートセンター  学齢期から成人期までの発達障害のある方のライフステージにあわせた支援をされている団体です。



4月からのサポートセンター新メンバーの自己紹介です



藤田 和恵(ふじた かずえ)

4月よりサポートセンターの課長となりました藤田です。
皆様方の活動がより充実したものとなるよう精一杯サポートしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



白石 陽子(しらいし ようこ)

4月からサポートセンターのスタッフとして採用されました白石です。
皆様のお役に立てるよう、一生懸命がんばります。初めはご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。

NPO・市民活動の相談窓口

◆北九州市市民活動サポートセンター

TEL: 093-645-3101

FAX: 093-645-3102

開館時間：月~土10:00~21:00

日・祝10:00~19:00

(毎月第1・3・5月曜日及び年末・年始は休館日)

北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3F

HP(キラキラネット) <http://www.kirakirakitaa.jp>

メールアドレス support3@axel.ocn.ne.jp



QRコード

編集後記

いよいよ「平成」から「令和」へとカウントダウン。
今回が平成最後のニュースレターとなります。平成13年10月以来、毎月発行し206号。積みかさねた重みを感じます。令和の時代も、先人に笑われないよう頑張らなければ！ by ガーネット